

生活支援型コミュニケーションWG

活動目標

- 一般生活者と共生するコミュニケーションロボットの仕様検討・研究開発等。一般生活者をロボットが支援できるシーンの網羅的検討と生活者支援に必要なコミュニケーション技術の抽出(生体センシング、環境センシング、情報分析、対話シナリオ生成、ノンバーバル対話表現)
- 実生活で役立つ各種アプリケーションの開発と評価分析
- 活動成果の広報

体制

主査 山田 敬嗣 (NEC)

メンバー

NEC、三洋電機、シャープ、船井電機、大阪工業大学、同志社大学、関西医科大学、ATR、関西経済連合会、NICT

活動経過

4月：生活支援とネットワークロボットの関係検討会（合宿）

9月：ネットワークロボットが貢献できる生活シーン検討会

今後の予定

12月、2月：生活者センシング技術と生活支援の研究開発項目検討

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
アプリケーション シナリオ検討 プロジェクト	方針策定 体制作り	アプリケーション 検討	アセスメント	シナリオ検証 シナリオビデオ 作成
アプリケーション インターフェース 開発プロジェクト	方針策定 体制作り	要件定義・ 仕様検討 予備実験	ソフトウェア 開発 システム開発	実証実験

生活支援型コミュニケーションWG

ネットワークロボットとのコミュニケーションによる生活支援

